



iTEP Academic

大学留学に使える英語能力測定テスト



www.iTEPexamjapan.com



iTEP Academicとは

iTEP Academicは、アメリカの大学、コミュニティ・カレッジ、集中英語プログラム (IEP) 等への正規留学を目指す人向けのテストで、世界44カ国で実施されています。英語力の入学選考基準としてiTEP Academicを採用しているアメリカの大学は700校を越え、さらに増え続けています。また、iTEP Academicには測定テストと3スキルテストもありますので、留学目的だけではなく、幅広い用途でお使いいただけます。

» Convenient 便利

オンデマンドで受験日の予約が可能。テストセンター、または自宅受験を選べます。企業、学校単位でのお申し込みには組織内の施設での団体受験も可能です。

» Fast 迅速

テスト時間は受験者登録やテクニカルチェックに10分、テストが80分、合計90分です。テスト結果は最短1営業日で入手可能です。

» Practical 実用的

受験者の解答はいつでもオンラインで閲覧可能です。ライティング、スピーキングの解答を確認できるテストはiTEPのほかにはありません。

» Comprehensive 確実

iTEP Academicは、4スキル+文法の5セクションで構成されています。スコアレポートには、スキル別のスコアのほか、サブスキルのスコアも表示されます。

» Secure 安全

iTEPのFotoSure® 機能で、試験官がいなくても安心して受験できます。問題は、iTEPのアイテム・バンク機能によってランダムに出題されるので、受験者ごとにテスト内容が異なります。

あなたもiTEPの仲間になりませんか？

コロンビア、エジプト政府のほか、多くのグローバル企業、学校、教育関係の団体・組織がiTEPを採用しています。

iTEPアセスメントシリーズは、ACEI (学術資格評価協会)、ACCETに認可された国際的にも認められた英語検定テストです。

開発元 iTEP International社とは

iTEP Internationalは、世界最大の留学生受け入れ教育機関であるELS Language Centers (米、プリンストン) を長年率いたペリー・エイキンス (Perry Akins) が、2002年に創立したエデュテック・カンパニーです。当時としては画期的なオンラインによる英語アセスメントテストを開発した理由を、「受験日は自由に選べず、費用は高額、かつ長時間のテストを少しでも身近なものにして、より多くの学生にアメリカに来てもらいたかったから」とiTEP 会長のエイキンスは言います。

ライティング、スピーキングをオンラインで試験するため、当時のテクノロジーを駆使し、ユーザーフレンドリーを目指したプラットフォームを開発しました。これにより、インターネットへのアクセス、PC、ヘッドセットがあれば、いつでもどこでも受けられるテストとして、iTEPはアメリカをはじめ、南米、中東などでその認知度を高めてきました。

今ではアメリカの700校以上の大学が留学生の英語力を査定するためにiTEPを活用しています。



iTEP Academicの概要

iTEPアセスメントシリーズは、英語を母国語としない人たちの英語力・英語の習熟度を測るためのテスト群です。中でもiTEP Academicは、公式留学用の英語能力判定テストとして活用するほか、以下のような用途でもお使いいただくことが可能です。

- アメリカの大学への留学希望者の英語能力判定として
- 学校、語学学校等でのクラス分け指標テストとして
- 英語のカリキュラム開発や進路指導の材料として
- 自社、自校で実施の英語プログラムの理解度・学習進捗度の効果測定として
- 英語教員の英語力評価テストとして
- 奨学金や教育助成金の受給資格の判断基準として



テスト形式と実施方法

iTEP アセスメントシリーズは、オンラインベースで実施されます。インターネット、パソコン等の機器がそろっているのであれば、ご自宅、学校や企業内の施設での受験も可能です。環境に不安のある方は、iTEP Japanが認定したテストセンターでの受験をおすすめします。

- グラマー、リスニング、リーディングの3セクションは、選択肢択問題で正解を選びクリックします。
- ライティングは、キーボードから解答を入力します。
- スピーキングは、ヘッドセットを通して解答を発話すると、iTEPプラットフォームに自動的に録音されます。

iTEP Academicは、PlusかCoreのどちらかを選ぶことができます。Coreは3スキルのみを測定するテストで、気軽に短時間で受けていただくことができます。Plusは3スキルに加え、ライティング、スピーキングが入ることで、より実践的な英語コミュニケーション能力を測定できます。アメリカの大学への留学希望でiTEP Academicを受ける方はPlusの公式版を受けていただくことになります。

iTEP Academic-Plus (公式版)

リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの4スキル+グラマーを測定。テスト時間は80分で、事前の受験者登録とテクニカルチェックに10分、90分で終了します。

iTEP Academic-Plus (測定版)

テスト項目(5セクション)とテスト時間は、公式版と同じです。スコアを留学目的で使用することはできませんが、公式版の準備のため、または自らの英語力を知りたい方におすすめです。

iTEP Academic-Core (3スキル版)

グラマー、リスニング、リーディングの3スキルテストです。テスト時間は60分で、より気軽に受けることができます。



iTEP Academicのテスト構成

iTEP Academicは、4スキル+グラマーの5セクションで構成され、総合的な英語力を評価することを目指しています。留学した後、大学で授業についていけるかを的確に判断します。

» グラマー(構造) — 10分/ 2パート

- Part 1. 空所補充問題(13問)です。選択肢の中から正解を選んで文中の空所を正しく埋めることが求められます。英語の構造面での特徴をどれだけ理解しているかを測定します。初級から上級レベルまでの問題です。
- Part 2. 誤文訂正問題(12問)です。文中の下線部から文法的に誤っているものを選ぶよう求められます。初中級から上級までの問題です。

» リスニング — 20分/ 3 パート

- Part 1. 初中級レベルの4つの短い会話を聞き、それぞれの会話の内容を問う選択肢問題が4題です。
- Part 2. 中級レベルの2～3分の会話を聞き、その会話の内容を問う選択肢問題が4題です。
- Part 3. 上級レベルの4分の講義を聞き、その講義の内容を問う多肢選択問題が6題です。

» リーディング — 20分/ 2 パート

- Part 1. 約250語の中級レベルの文章1題の内容を問う選択肢問題が4題です。
- Part 2. 約450語の上級レベルの文章1題の内容を問う選択肢問題が6題です。

» ライティング — 25分/ 2 パート

- Part 1. 問いに対する答えを、50～100語程度の文章にまとめて解答します。初・中級レベルの設定です。制限時間は5分で、メモを取ることができます。
- Part 2. あるトピック(上級レベル)について、自分の意見とその意見の根拠を175～250語程度の文章にまとめます。制限時間は20分で、メモを取ることができます。

» スピーキング — 5分/ 2 パート

- Part 1. スピーカーから流れる質問音声を聞いた後、30秒の準備時間で解答をまとめ、その後、45秒の制限時間いっぱいを使って解答します。*画面でも問題の確認ができます。
- Part 2. あるトピック(上級レベル)についての意見を求められます。意見をまとめる時間が45秒で、60秒で解答します。問題は音声と画面での文章の両方で確認できます。

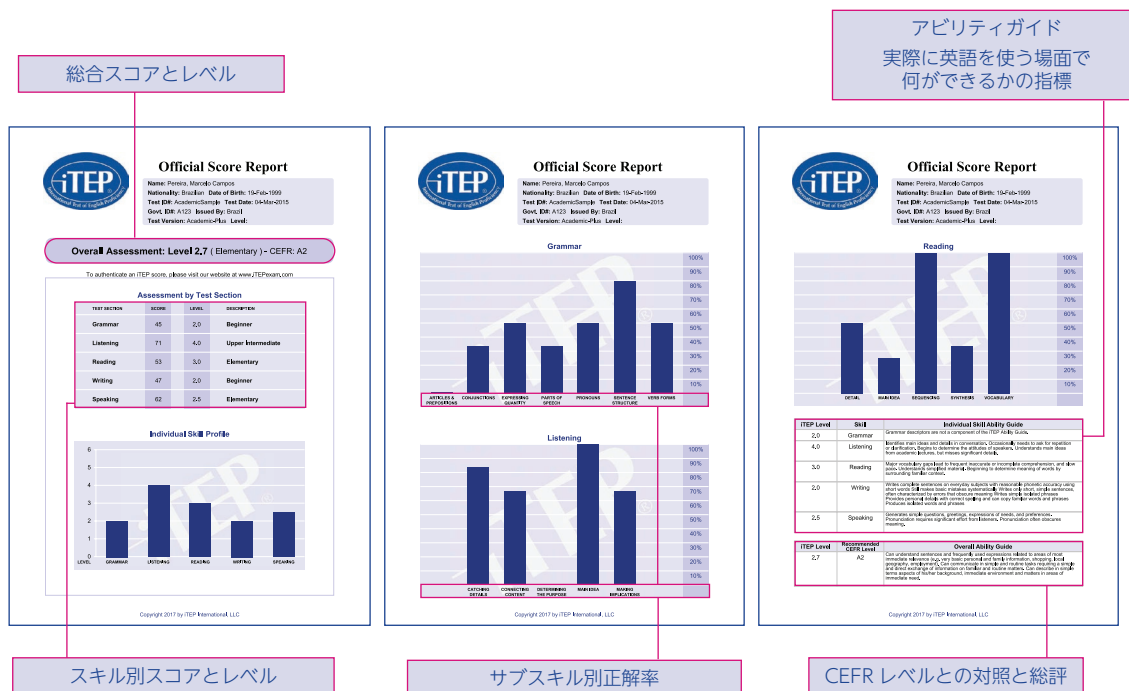
評価方法とスコアレポート

iTEP Academicの総合評価は、0 (初心者) から6 (熟練者) まで、0.1点刻みで表示されます。各スキルに設定されているサブスキルも同じく0.1刻みのスコア表示になっています。iTEP Academicテストは、4 スキルを公平に測ることを目指しているため、スキル別、問題別に配点の違いはありません。

- ・ グラマー、リスニング、リーディングの3セクションは、自動採点です。即時に結果を確認できます。
- ・ 選択肢問題の配点は一律です。誤答による減点ははありません。
- ・ ライティングとスピーキングは、機械採点ではなく、iTEPが認定した英語を母語とする専門家が行います。採点者はESLでの教師経験またはトレーニングを受けたことがある、TESOL、TEFLの資格を持っています。採点方法にあたってはiTEPが定めた評価基準 (ルーブリック) を用いることで、採点者による評価の偏りをなくし、より適切な評価ができる仕組みになっています。
- ・ スコアレポートには、スキルごとにサブスキルが設定されています。その結果もスコアレポートに掲載されるので、受験者は自らの長所と短所を明確に知ることができます。

スコアレポート

iTEPの総合スコアは、簡単な英語を理解できる初級レベルから、大学の講義を理解しアメリカでの学生生活を送ることができる、あるいは社会生活で求められる英語を理解できる中上級から上級・熟練者レベルまで、6レベル (0.1~6.0) で結果を表示します。詳細なスコア表示によって、iTEP を繰り返し受験することで、英語学習の進捗を確認できるスコアレポートの設計になっています。総合スコアはCEFR (ヨーロッパ言語共通参照枠) レベルと対照することも可能です。





iTEP Academic アビリティガイド

アメリカでの学生生活や実社会で、英語をどの程度使えるかを表示した英語到達度指標 (CAN-DOリスト) です。スコアレポートにある採点結果とアビリティガイドを対照することで、受験者は今の自分の英語到達度を確認することができます。

iTEP	CEFR	リスニング	リーディング	ライティング	スピーキング
6.0 ↑ 5.5	C2 熟練者	- 講義内容の別なく、全体の意味を把握し、かつ詳細な内容についても十分に理解することができる - 英語を母語としない人の英語も、聞き分け、理解することができる	- 一般的な学術的資料であればその内容を問わず、全体を読み理解することができる - ネイティブと変わらない速度で英語を読むことができる - 辞書をほとんど必要としない	- 大学で必須のリサーチペーパーを適切なスタイルと語彙を用いて書くことができる - ネイティブとほぼ同等レベルの正確な文法とスペルで書くことができる	- どんな話題であっても、文化的に適切な方法で、正確かつ効果的な英語を駆使して、意思疎通することができる - ネイティブ話者とほぼ同等の発音で発話することができる
5.4 ↑ 4.5	C1 上級者	- 話し手の態度や目的を聞き取ることができる - 講義の要旨と、それを裏付ける詳細な内容を聞き取ることができる - 複雑な社会的、文化的な表現には手こずることがある	- 学術的な文章、ジャーナル記事などの主旨と詳細内容のほぼ全てを読み解くことができる - 読み解くには多少の時間を必要とする	- 時折、文法やスタイル上の間違いはあるが、大学で求められる課題はほぼ満たすことができる - 文章構成力と展開力は優れている	- 文法とスタイル上の間違いは稀で、一般的な大学での課題であれば問題なくなすことができる - 文章を構成し展開する力は優れている
4.4 ↑ 3.5	B2 中上級者	- 会話中の要旨と詳細を特定できる - 発言を繰り返してもらったり、内容を聞き返さないと話についていけないことがある - 話し手がどう考えているのか少しずつ理解し始めている - 大学の講義の要旨は理解するが、重要な点を聞き逃す	- 複雑な文章や新しい語彙を理解するために、文脈や構文上の手がかりを利用することができる - 教科書の要旨の大部分を推測することはできるが、詳細の把握にはばらつきがある - 抽象的な内容や文化的な言及の一部を誤って解釈してしまう	- 身近な話題について、まとまりのあるエッセイを書くが、文法的な弱点がある - 文体の特徴を完全には把握していない - 語彙の正確さや洗練度に欠けることが多い	- 身近な話題であれば、抽象的な概念も表現できるようになってきた - 語彙や文法が適切でないために流暢さが損なわれることがある - 聞き手から単語やフレーズを繰り返すよう求められることがある
3.4 ↑ 2.5	B1 中級者	- 大学などアカデミックな環境で議論されるトピックの大枠は理解できる - 複雑な構文や難しい単語に慣れていないため、理解に大きなズレが生じる	- 語彙が限られているため、読むスピードが遅くなる - 身近な話題であれば理解し、いくつかの重要な詳細を特定できる - 試験、研究、課題などで、段階的な指示に従うことができる	- 基本的な考えを伝えることはできるが、構成が弱く、文法的なミスもある - 身近な話題について、回りくどい言葉を使って考えを表現する	- 同僚や講師と日常的なコミュニケーションができるが、文法や語彙の誤りがしばしば見られる - 聞き手が相当な努力をしないと、発音が聞き取れない
2.4 ↑ 2.0	A2 初級者	- 身近な話題であればどうにか会話の理解を維持できる - 非言語の合図や繰り返しに頼ることが多い - 簡単な語彙でゆっくり話されると、非常に基本的なやり取りを理解できる	- 語彙が不足しているため、間違った、不完全な理解しかできず、読むスピードも遅い - 知らない単語の意味を文脈から判断できるようになりはじめている	- 読み手が相当な努力をしないと、意図された意味がつかめない - 基本的な語彙と簡単な文法構造しか使わない	- 簡単な質問、挨拶、要望の表明、好みなど表現できる - 聞き手が相当な努力をしないと、発音が聞き取れない
1.9 ↑ 0	A1 初心者	- ゆっくりとはっきりと語られた場合は、簡単な挨拶、発言、質問を理解することができる - 簡単で身近な指示であれば従うことができる - 繰り返してもらわないと理解できないことがしばしばである - ゆっくりと話されたいくつかの単語やフレーズは理解することができる	- 非常に単純化されたフレーズや文章であれば理解できる - よく使うつなぎ語や基本的な代名詞を認識できる - いくつかの簡単な文法や語彙構造を理解しているように思われる - アルファベットや単語を認識している	- 短くて簡単な文しか書けず、間違いも多いので、意味が曖昧になる - 自分のことや個人的なことであれば、正しいスペルで表現し、よく使う単語やフレーズをコピーすることができる	- ネイティブではない強勢やイントネーションが見られる - 短い発話であればわかってもらえる - 中断、言い間違い、いい直しが多い - 最低限の単語やフレーズで意思疎通する - 聞き手の集中的な努力が求められる - 発音はほぼ理解できない



iTEP Academic スコア対照表

CEFRを基準にしたiTEPと他の英語資格試験のスコア対照表です。

iTEP Academic	TOEFL® IBT	IELTS™	PTE General	PTE Academic
5.5 - 6.0	115 - 120	9 - 8	Level 5 + Level 4	81 - 90
5.0 - 5.4	110 - 114			76 - 80
4.5 - 4.9	99 - 109	7.5	Level 3	68 - 75
4.0 - 4.4	87 - 98	7		59 - 67
3.5 - 3.9	57 - 86	5.5 - 6.5	Level 2	43 - 58
3.0 - 3.4	44 - 56	5	Level 1	36 - 42
2.5 - 2.9	32 - 43	4.5		30 - 35
2.0 - 2.4	26 - 31	4		26 - 29
1.5 - 1.9	21 - 25	3		22 - 25
1.0 - 1.4	14 - 20	2		18 - 21
0.5 - 0.9	7 - 13	1		14 - 17
0.0 - 0.4	0 - 6	0		10 - 13

TOEFLはEducational Testing Service (ETS)の登録商標です。iTEPの制作に ETSは関わっておらず、iTEPあるいは本対照表は、いかなる形においても、ETSの承認を受けたものではありません。

iTEPの制作にCambridgeは関わっておらず、iTEPあるいは本対照表は、いかなる形においても、Cambridgeに承認を受けたものではありません。

iTEPの制作にPearsonは関わっておらず、iTEPあるいは本対照表は、いかなる形においても、Pearsonに承認を受けたものではありません。

IELTSはInternational English Language Testing System, British Council, IDP: IELTS Australia, and Cambridge English Language Assessment.の登録商標です。iTEPの制作にIELTSは関わっているおらず、iTEPあるいは本対照表は、いかなる形においても、IELTSの承認を受けたものではありません。



iTEP Academic-Plus—TOEFL® IBT/IELTS™ 比較表

	iTEP Academic-Plus	TOEFL® IBT	IELTS™ (Academic)
テスト時間	・ 90 分 (4 スキル + グラマー)	・ 180 分 (全 4 スキル)	・ 164 分 (全 4 セクション)
測定スキル	・ 4 スキル + グラマー: リスニング、リーディング、ライティング、スピーキング	・ 4 スキル: リスニング、リーディング、ライティング、スピーキング	・ リスニング、リーディング、ライティング、スピーキング (別途対面インタビュー形式)
対象受験者層	・ 高卒から大学レベルの学生	・ 大学レベルの学生	・ 大学レベルの学生
テストのレベル	・ 初級レベルから上級レベル	・ 上中級レベルから上級レベル向け	・ 上中級レベルから上級レベル向けの難易度が固定されたテスト
テストの用途	・ 米大学への留学希望者の英語能力査定 ・ 語学学校でのクラス分け ・ 語学研修前後での英語能力の進捗チェック ・ 奨学金や交換留学プログラム受け入れ候補者の認定	・ 英語圏大学への留学希望者の英語能力査定 ・ 語学学校でのクラス分け ・ 雇用やクラス分けのための英語力評価	・ 英語圏大学への留学希望者の英語能力査定 ・ 語学学校でのクラス分け ・ 英語研修前後での英語能力の進捗チェック
テスト形式	・ インターネット	・ インターネット	・ テストセンター (東京、大阪に限る) PC 受験、対面インタビュー
安全性	・ iTEP 認定のテストセンター、自宅、または組織の施設内 ・ テストセンターは、写真付き ID を試験官が確認。自宅受験は写真付き身分証明書をアップロード ・ 問題はランダムに出題されるので、受験者ごとにテスト内容が異なる ・ FotoSure™ ソフトウェアにより、受験終了まで写真撮影でカンニング等のチェックができる	・ 安全が確保された ETS の認可済みテストセンター、または自宅受験 ・ 会場にて承認を受けた試験官が受験者一人ひとりの写真付き ID を確認	・ 安全が確保された IELTS の認可済みテストセンターでのみ実施可能 ・ 会場にて承認を受けた試験官が受験者一人ひとりの写真付き ID を確認
採点方法	・ 選択肢問題は、iTEP のソフトウェアによる自動採点 ・ ライティングとスピーキングは、ESL の訓練を受けた英語ネイティブの専門家が評価	・ 複数の採点者と AI 採点を併用	・ IELTS の試験官によって採点される。テスト結果は、テストセンターから受験者に提供される
スコア	・ 総合スコアは 0.1 刻みで 0 から 6 表示 ・ サブスキルのスコアも表示されるので、スキル別の得意・不得意など詳細を把握することが可能	・ 各セクション 0-30、総合スコア 0-120 で表示	・ 標準化された採点指示に基づいた、1 から 9 までの総合スコアとセクション別のスコア
受験予約方法	・ iTEP Japan ホームページより予約	・ 試験日は ETS が前もって決定 (年に 45 回以上) ・ 週 4 日 24 時間、自宅受験可	・ ホームページから予約
結果入手に要する時間	・ 最短 1 営業日で発行可能	・ 6 ~ 10 日以内	・ 3 ~ 5 営業日
iTEP の優位性	・ iTEP パートナーは、テスト結果をオンラインで閲覧可能、ライティングやスピーキングの解答の確認もできる ・ iTEP テストのカスタマイズ、モジュール化にも対応 ・ iTEP パートナーは、自身の施設を iTEP テストセンターとし、その場でテストを実施することが可能		



iTEP Academicで憧れのアメリカの大学へ！

いきなりアメリカの難関大学へ行くのは難しい、今の英語力では授業についていけないのでは。そんな心配は誰もが抱くものです。それなら比較的、英語力がなくても行けるコミュニティカレッジにまず入学して英語力を磨いてから、有名大学に編入する方法があります。有名大学の夏期講習を受けてみるのもいいでしょう。iTEPは全米各地のコミュニティカレッジとも密に連携しています。

iTEPパートナー大学

LIBERTY
UNIVERSITY



ASU
ARKANSAS STATE
UNIVERSITY



UNIVERSITY OF
DISTRICT OF
COLUMBIA
1851



CAL POLY POMONA

CSUN
CALIFORNIA
STATE UNIVERSITY
NORTHBRIDGE



UNIVERSITY OF
ILLINOIS
SPRINGFIELD



HAWAII
PACIFIC
UNIVERSITY

iTEPのパートナー校例

ニューヨーク大学

iTEP レベル 4.5

1831年創立、NYUの略称で知られる全米有数の私立大学。
世界大学ランキングで30位である。

カリフォルニア大学バークレー校 (夏期講習)

iTEP レベル 5

アメリカの公立大学ランキング1位の
UCバークレーの夏期講習に挑戦できる。

カリフォルニア大学ロサンゼルス校 (夏期講習)

iTEP レベル 4

ノーベル賞受賞者も輩出する世界屈指の名門校。
カリフォルニアの青い空の下、キャンパスライフを満喫できる。

ハワイ・パシフィック大学

iTEP レベル 3.7

太平洋諸国、アジア、ヨーロッパからも学生が集まる
国際色豊かなキャンパスで勉強ができる。

ウェスタン・イリノイ大学

iTEP レベル 3.7

シカゴから車で3時間ほどの自然豊かな環境に
キャンパスがある。1899年創立の地域コミュニティに密着した
学校である。

サンタモニカ・カレッジ

iTEP レベル 3

2年制の公立学校。人気のサンタモニカにキャンパスがあり、
UCLAへの編入に実績がある。

ニューヨーク州立工科大学

iTEP レベル 4.4

ハイテクの学習環境を求めて世界からの留学生が集まる。

思いついたら即受験！

必要なのはインターネット、パソコン、そしてヘッドセット

90分であなたの英語能力を正確に測定します。

夢のアメリカ大学留学をiTEPでより身近なものに！

世界51カ国で採用されている実績

700以上のアメリカの大学が公式認定している信頼

iTEPはグローバル時代を生き抜くための英語力を身につける早道です！

簡単・便利な英語力評価ツールiTEPは、様々な場面で活躍しています。

- ・ 大学
- ・ 中高等学校
- ・ ボーディング・スクール
- ・ 集中英語プログラム
- ・ ビジネスおよび産業界
- ・ 政府系機関
- ・ 専門職資格認定機関

